

令和元年教育委員会 第8回定例会

- 1 日 時 令和元年8月29日(木) 13時30分開会 17時47分閉会
(休憩 15時32分～15時39分)
- 2 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室
- 3 出席委員 教育長 林 秀 樹
教育委員 笹 谷 純 代
教育委員 小 澤 倭文夫
教育委員 荒 田 純 司
教育委員 常 見 幸 司
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育部長 森 貴 仁
教育部次長 須 藤 慶 子
教育部市立学校適正配置担当次長 松 井 宏 幸
学校教育支援室長 中 島 正 人
学校教育支援室主幹 (生徒指導・特別支援担当) 大 山 倫 生
学校教育支援室主幹 (教育課程・研修担当) 谷 口 剛 (教育研究所主幹兼務)
学校教育支援室主幹 (学務担当) 吉 田 健 一
学校教育支援室主幹 (市立学校適正配置担当) 佐々木 雅 一
教育総務課長 成 田 和 陽
施設管理課長 伊 藤 雅 浩
学校給食センター副所長 作 田 敏 春
生涯学習課長 山 澤 亮 司
生涯スポーツ課長 丸 田 健太郎
図書館副館長 石 塚 則 子
総合博物館副館長 井 上 雅 博
美術館副館長 小 林 由美子
学校教育支援室指導グループ主査 佐 藤 輝 明
教育総務課総務係長 安 藤 英 明
教育総務課総務係 会 沢 秀 紀
- 6 傍 聴 人 なし
- 7 議 題

- 議案第1号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択について
議案第2号 令和2年度使用小樽市中学校用教科用図書の採択について
議案第3号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択理由書について
議案第4号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書及び小樽市中学校用教科用図書採択結果
の公表方法について
議案第5号 職員の措置について
協議第1号 小樽市教育推進計画（原案）について
報告第1号 小中学校の学校再編について
報告第2号 小樽市立学校における働き方改革行動計画の改定について
報告第3号 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果等について
報告第4号 平成31年度（令和元年度）標準学力調査結果報告について
その他 ・寄附採納について

8 議 事

林教育長 ただ今から、教育委員会第8回定例会を開会いたします。
本日の会議の議事録署名委員に、荒田純司委員を御指名させていただきます。
はじめにお諮りいたします。議案第5号「職員の措置について」は会議規則第13条第1項第2号により、協議第1号「小樽市教育推進計画（原案）について」、報告第3号「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果等について」、及び報告第4号「平成31年度（令和元年度）標準学力調査結果報告について」は同項第5号により、それぞれ非公開とし、議事録については結果のみ掲載することとし、最後に審議していただきたいと思いますが、それよろしいでしょうか。

各委員 （異議なし）

林教育長 それでは、そのように進めさせていただきます。
また、議案第1号の議決結果を踏まえ、議案第3号の資料を整理する必要があるため、その他の報告の後に議案第3号及び議案第4号を審議していただきたいと思いますが、それよろしいでしょうか。

各委員 （異議なし）

林教育長 では、そのように進めさせていただきます。

議案第1号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択について

林教育長 それでは、議案第1号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択について、でございますけれども、本議案につきましてはこれまでの協議を踏まえまして、令和2年度使用

小樽市小学校用教科用図書について採択をしたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

はじめに、これまでの経過について確認させていただきますので、議案の3枚目、最後のページを開いていただき、採択経過を御覧ください。

まず、5月30日の第5回定例会におきまして、小樽市教科用図書調査委員会規則に基づきまして、令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書調査委員会要領を決定するとともに、調査委員会への諮問内容、調査委員会委員の任命及び委嘱について決定いたしました。

6月7日の調査委員会第1回総会では、教育委員会から各調査委員へ委嘱状を交付するとともに、調査委員会委員長へ諮問書を手交いたしました。

そして、7月19日の調査委員会第2回総会終了後、調査委員会委員長から教育委員会に答申をいただきました。

7月25日の第7回定例会では、調査委員会の各小委員長から、答申の内容について詳細な説明を受けたところです。なお、各小委員長からは、6月7日から7月19日の間に、それぞれ3回、小委員会を開催し調査研究を行ったとの報告を受けております。

その後、7月25日と8月7日に、勉強会を開催し、各教科用図書の精査、検討を行うなど、採択に向けた協議を重ねてまいりました。

採択経過については以上でございます。

このあと、種目（教科）ごとに採択をしてみたいと思ひますが、これまでの議論の中では、学習指導要領の目標や内容等に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現に資する内容となっているか、などの観点で、各教科書の見本本の特色や違いについて、委員の皆様から様々な御意見をいただきました。本日は、どの教科書が、今の小樽の子どもたちにとって学習しやすく、教員にとって指導しやすいのか、これまでの議論を踏まえまして、各委員の皆様から、採択したい主な理由などについて改めて御意見をいただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

はじめに、国語についてですが、委員の皆様、これまでの議論を踏まえまして、どの教科書が良いとお考えでしょうか。御意見を頂戴したいと思ひます。よろしくお願ひします。

小澤委員 私は、結論から申しますと、光村図書が良いと思ひます。理由は、学習のてびきに課題が示され、「とらえよう」や「ふかめよう」では、課題を解決したり探究したり、学習の流れが明確になっています。子どもが見通しをもって主体的に学習に取り組むことができ、探究的に学ぶことができるよう工夫されているところが良いと考えました。特に、物語教材では、読み方を学ぶことができるところが良いと思ひましたので、光村図書を、と思ひます。

荒田委員 私も、光村図書が良いと思ひます。理由は、単元のとびらに「これまでの学習」というものが記載されております。教科書のページでこれまでの学習を振り返りながら進むというところが、今まで習ったことを振り返りながら、その単元の学習に積極的に取り組むことができるのではないかと考え、とても良いと思ひます。

笹谷委員 私も、光村図書が良いと思ひます。光村図書の本には、学習のてびきのところに「ノート

の例」や「まとめの例」が紹介されておりますので、授業の中で、子どもたちが参考にする
ことで、より良いノートを作ることができ、学びも深まっていくのではないかと思いますの
で、光村図書がいいと思います。

常見委員 私も、光村図書がいいと思います。光村図書は、学習のまとめがしっかりできる工夫がな
されているという印象を受けました。特に、5・6年生の教科書は1冊になっていて、1年
間を通じて学習の見通しや振り返りに活用しやすく、中学校への接続もスムーズになるよう
配慮されているという印象でしたので、光村図書がいいと思いました。

林教育長 ありがとうございます。皆様、光村図書が良いということですが、ただ今、皆様方から
いただいた御意見を私の方でちょっと整理してみたいと思いますけれども、小澤委員からは、
学習のてびきに、課題の設定、解決・探究ができる学習過程が明示されており、児童が見通
しをもって主体的に学習に取り組み、探究的な学びができるよう工夫されている、という御
意見がございました。荒田委員からは、単元のとびらには「これまでの学習」が記載されて
おり、既習事項を振り返りながら、その単元に積極的に取り組むことができるようになって
いる、という御意見をいただきました。笹谷委員からは、「ノートの例」と「まとめの例」が
示されていて、児童が参考にすることでより良いノートを作成するとともに、深い学びへと
つなげることができるようになっている、という御意見をいただきました。常見委員からは、
高学年の教科書が学年1冊の合本となっていることで、学習の見通しや振り返りに活用しや
すく、中学校への円滑な接続ができるよう配慮されている、という御意見をいただきました。
これらの理由から、国語につきましては、光村図書を採択したいと思っておりますけれども、皆様
いかがでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「国語」は「光村図書」を採択することといたします。

次に、書写についてですが、委員の皆様、これまでの議論を踏まえまして、どの教科書が
良いとお考えでしょうか。

小澤委員 私は、光村図書がいいと思います。理由は、1つの教材で何を学ぶのが焦点化され、子
どもたちにとって、学習のねらいが明確に示されているからです。例えば5年生の「しんに
よう」の学習、(教科書の)16～17ページを御覧いただくと、「部分の組み立て方」とい
う単元名で、これを考えながら学ぶ構成になっています。「道」という字の漢字の組み立てが
㊦・㊧と具体的に並べて書かれていて、どちらがいいのか、組み立て方を考えながら学ぶよ
うな構成で、さらにその下に「たいせつ」があり、最後「ふり返ろう」というところから、
学習のねらいが明確で、1時間で効果的に基礎・基本が身に付けられるように工夫されてい
るところが良いと思いますので、光村図書を推薦したいと思います。

笹谷委員 私も、光村図書がいいと思いました。各学年の巻頭に、書くときの姿勢が掲載されてお

まして、「足はペッタン」「せなかはピン」「おなかとせなかにグウひとつ」という表現で書かれてあるのですが、これが非常に分かりやすいと思いますし、筆記用具の持ち方を確認できるページも設けられていて、繰り返し確認することで、学習の定着を図ることができるようになっていて、そのように思いましたので、光村図書がいいと思います。

常見委員 私も、光村図書がいいと思います。私がいいなと思ったのは、6年生の教科書ですが「書写ブック」というのが掲載されていて、その中に「手紙の書き方」「はがきの表書き」「新聞の書き方の工夫」など1年生から6年生で学んだことがまとめられていて、これまで学習してきたことを、日常で生かすことができるようになっていてというところですか。そういう点で優れているのではないかと思います、光村図書を推薦いたします。

荒田委員 私も、光村図書がいいと思いましたが。小澤委員からも（発言が）あった、5年生の16ページの右下に「たいせつ」というコーナーがありまして、学習のポイントが端的に示されているところ、キャラクターが吹き出しで課題解決のヒントを示しているところなど、子どもたちが主体的に課題を発見し、解決できるよう配慮されているところが良いと思いましたが、光村図書を推薦したいと思います。

林教育長 ありがとうございます。まとめますと皆様、光村図書が良いということですが、ただ今、皆様からいただいた御意見を私の方で整理してみましたので申し上げますと、まず小澤委員からは、教材で扱う要素が焦点化されていることで、学習のねらいが明確になっていること、自己評価欄を設けるなどして効果的に基礎・基本が身に付けられるよう工夫されている、という御意見がございました。笹谷委員からは、各学年の巻頭に、書くときの姿勢と筆記用具の持ち方を確認する場を設け、繰り返し確認することで、学習の定着を図ることができるようになっていて、という御意見。常見委員からは、6年生の「書写ブック」に「手紙の書き方」「はがきの表書き」「新聞の書き方の工夫」など各学年で学んだことがまとめられており、学習したことを日常で生かすことができるようになっていて、という御意見をいただきました。荒田委員からは、学習のポイントを示す「たいせつ」や、課題解決のヒントを与えるキャラクターにより、児童が主体的に課題を発見し、解決できるよう配慮されている、という御意見をいただきましたので、これらの理由から、書写につきましては光村図書を採択したいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「書写」につきましては「光村図書」を採択することといたします。

続きまして、社会についてですが、これまでの議論を踏まえて、どの教科書が良いとお考えになるか、各委員から発言をお願いいたします。

荒田委員 私は、教育出版がいいと思いましたが。各学年の巻頭に「社会科の学習の進め方」が記載されており、「つかむ」「調べる」「まとめる」といった問題解決的な学習の流れを示し、子ども

たちが見通しをもって学習することができるように工夫されているところが良いと思いました。あと、1時間の学習が見開き2ページになっていて、学習しやすいのではないかと思いますので、教育出版を推薦したいと思います。

常見委員 私も、教育出版がいいと思います。単元の学習後は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に向けて、自分にできることを考えることができるようになっていくところが良いと思いました。例えば、5年生の日本の国土の学習や水産業の学習では、排他的経済水域が明確になっていて、水産資源を守るために、消費者として何ができるかなどを考えることができるような展開となっているところが良いと思いました。

小澤委員 私も、教育出版がいいと思います。理由としては、選択して学習する内容について、各学年の目次や本文の下部に「せんたく」と示され、学習指導要領に示された選択の内容が分かりやすく記載されているところが良いと思いました。選択は、3年生から6年生まであり、分かりにくい部分もあると思いますので、特に若い先生方にとって、この教科書はとても分かりやすくなっていると思いましたので、教育出版が良いと考えました。

笹谷委員 私も、教育出版がいいと思います。理由としましては、寒い地域の代表として北海道が取り上げられており、アイヌ民族や北方領土など北海道に関する記述が豊富なのところが良いと思います。そのほか、^{せんかく}尖閣諸島など領土問題に関する内容も充実しておりますので、教育出版がいいと思います。

林教育長 ありがとうございます。皆様の御意見では、教育出版が良いということですが、ただ今、皆様からいただいた御意見を私の方で整理してみましたので申し上げますと、まず荒田委員からは、各学年の巻頭に「社会科の学習の進め方」として「つかむ」「調べる」「まとめる」といった問題解決的な学習の流れが示されており、児童が見通しをもって学習することができるよう工夫がなされている、という御意見。常見委員からは、単元の学習後は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に向けて、自分にできることを考えることができるようになっていく、という御意見。小澤委員からは、選択して学習する内容については、各学年の目次や本文の下部に「せんたく」として示されており、学習指導要領に示された選択の内容が分かりやすく記載されている、という御意見。笹谷委員からは、寒い地域の代表として北海道を取り扱っているとともに、アイヌ民族や北方領土など北海道に関する記述が豊富であり、尖閣諸島などの領土問題に関する内容も充実している、という御意見をいただきましたので、これらの理由から、社会は教育出版を採択したいと思います。よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「社会」は「教育出版」を採択することといたします。
次に、地図について、これまでの議論を踏まえて、どの教科書が良いとお考えでしょうか。

各委員からお願いいたします。

常見委員 私は、帝国書院がいいと思います。理由なのですが、7ページの「地図って何だろう」、9ページの「地図の約束」などの「イラストマップ」から始まり、「日本地図」「世界地図」「資料図」「統計資料」「索引」という流れで系統的に排列されているので、子どもが学習に主体的に取り組むことができるよう工夫されています。何より、地図の見方の基礎をしっかりと学ぶことができるのではないかと思います。

笹谷委員 私も、帝国書院がいいと思いました。帝国書院は、田んぼや畑などの土地の様子が大変鮮明で、山脈や山地の高まりが視覚的に分かりやすく描かれており、重要な地名は大きく大きく文字のまわりに縁取りをつけたりするなど、大変見やすい表現になっていると思いましたので、帝国書院がいいと思います。

小澤委員 私も、帝国書院がいいと思います。理由は、北海道全体の地図とは別に、北海道地方南部が100万分の1の縮尺で大きく示されており、北海道の各地の位置関係や距離関係が把握しやすく、特別活動や総合的な学習の時間などで、様々な学習で活用できるところが良いと思いました。あと、地図全体の、高低や海の深さを表す色合いが大変良いと思いました。

荒田委員 私も、帝国書院がいいと思います。理由は、日本の東西南北端、排他的経済水域が示されているとともに、日本固有の領土である北方領土、竹島、尖閣諸島と東西南北端の写真が掲載されていて、子どもたちが正しい国土を認識するうえで大変有用な面があると考えましたので、帝国書院を推薦したいと思います。

林教育長 ありがとうございます。ただ今、皆様方の御意見をお聞きして、帝国書院が良いということ。私の方で、皆様の御意見をまとめて申し上げますと、まず常見委員からは、「イラストマップ」「日本地図」「世界地図」「資料図」「統計資料」「索引」という流れで系統的に排列されていて、児童が学習に主体的に取り組むことができるよう工夫されている、という御意見をいただきました。笹谷委員からは、田んぼや畑などの土地の様子が鮮明に表現され、山脈や山地の高まりが視覚的に分かりやすく描かれているとともに、重要な地名は大きく大きく文字のまわりに縁取りをつけるなど見やすくなっている、という御意見をいただきました。小澤委員からは、北海道地方南部が100万分の1の縮尺で大きく示されており、北海道の各市町村との位置関係及び距離関係が把握しやすく、特別活動や総合的な学習の時間など、様々な学習で活用できるところが良い、という御意見をいただきました。荒田委員からは、日本の東西南北端、排他的経済水域が示されているとともに、日本固有の領土である北方領土、竹島、尖閣諸島と東西南北端の写真が掲載されており、正しい国土の認識を養うことができるようになってきているという面で良い、という御意見をいただきましたので、これらの理由から、地図につきましては帝国書院を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

- 林教育長** それでは、「地図」は「帝国書院」を採択することといたします。
次に、算数についてですが、これまでの議論を踏まえまして、どの教科書が良いかということ、御意見をいただきたいと思います。
- 小澤委員** 私は、教育出版がいいと思います。理由は、問題解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!？」という吹き出しで示し、子どもの思考の流れに沿っていて、これからの学習指導要領で求められている主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されているところが良いと思いました。
- 常見委員** 私は、東京書籍がいいと思います。理由なのですが、見開きで勉強していくという点では、東京書籍が一番見やすいと思いました。また、既習事項を確認してから次の学習に進むなど、復習を繰り返す構成になっているところが良いと思いました。それから、1年生のA4サイズが、ワークブックのようで魅力を感じました。
- 荒田委員** 私も、東京書籍がいいと思います。理由は、もくじに、前後の学習とのつながりが明記されており非常に分かりやすいということと、吹き出しを見ると何を学習するのも分かりやすくなっているということです。それから、常見委員と同じになりますけれども、1年生の①の教科書が大きくなっており、幼稚園からの接続という意味では、東京書籍が良いのではないかと思います。
- 笹谷委員** 私は、教育出版がいいと思いました。教育出版では、巻末の「ステップアップ算数」というところに「きほんの問題」と「ジャンプ問題」というものがあり、解答も記載されていて、子どもたちの実態に応じて主体的に学習に取り組むための内容が記載されていると思いますので、教育出版がいいと思います。
- 林教育長** ありがとうございました。ただ今の各委員の御意見では、東京書籍と教育出版が良いという御意見でした。今のお話を聞いて、2つに分かれておりますので、何か御意見ございませんでしょうか。
- 小澤委員** 東京書籍は、ノート指導にも力を入れていて、私もいいなと思いました。でも、同じノート指導のところ、東京書籍と教育出版を比べてみますと、教育出版は、右上にノートの構成やアドバイスなどが書いてあるところがあり、そういう点で、子どもたちがノートをとるときに教育出版のほうがいいのかなと考え、やはり、子どもの思考の流れを追いながら、学習を進めていく教育出版の方が、先生方は指導しやすいのではないかと思います。
- 常見委員** 先ほどは、東京書籍の、復習を繰り返す構成が良いとお話しましたが、今、小澤委員のお話を聞いて、子どもの思考の流れに沿って基本をしっかり学ぶという点で見れば、教育出版も非常に分かりやすく良いのではないかと思います。あと、教育出版は、友達のノートを

互いに見て、友達の良いところを見付ける活動を取り入れることで、思考力や判断力、表現力を高めることができるようになってきているということもいいと思います。

荒田委員 私も、東京書籍は、分かりやすいのではないかなということで、先ほど意見させてもらいましたが、今、他の御意見も聞きまして、教育出版は、子どもの実態や思考の流れに沿って子ども中心に構成されているということで、非常にコンパクトにまとまっており、子どもにとっても学習しやすく、先生にとっても教えやすい教科書ではないかと思いますので、教育出版の方が評価できると思いました。それから、教育出版は、既習事項を生かして考えるキャラクターの吹き出しで「どんちゃん」というものと、発展的な見方を促す「ぐりちゃん」というものがありますが、子どもにとって考えるポイントになっていて、学習意欲を高めることにもつながると思いますので、教育出版のほうが良いという意見にさせていただきます。

笹谷委員 先ほどもお話しさせていただいたのですが、教育出版の巻末にある「自分で取り組むページ」というところに、「ステップアップ算数」「広がる算数」のほかに、「家庭学習のヒント」というのが書かれていますので、小樽の子どもたちには、ぜひ家庭学習に取り組んでももらいたいと思います。

林教育長 ありがとうございます。ただ今の御意見の中で、子どもの思考の流れに沿った学習の展開や、ノート指導など、子どもにとって学習しやすく、先生方にとって指導しやすいという観点から、総合的に教育出版が良いという御意見でまとまりましたので、皆様からいただいた主な意見をもとに整理しましたので申し上げますと、まず小澤委員からは、問題解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!？」の吹き出しで示し、児童の思考の流れに沿って主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている、という御意見。常見委員からは、ノートづくりを重視し、友達のノートを互いに見て、書き方のいいところを見付ける活動を取り入れることで、思考力・判断力・表現力を高めることができるようになっていく、という御意見。荒田委員からは、既習事項を生かして考える「どんちゃん」と、発展的な見方を促す「ぐりちゃん」のキャラクターを設けるなど、児童の学習意欲を高めることができるようになっていく、という御意見をいただきました。笹谷委員からは、巻末の「ステップアップ算数」が「きほんの問題」と「ジャンプ問題」で構成され、解答も記載されているなど、個に応じた児童が主体的に学習に取り組むための内容が掲載されている、という御意見をいただきました。これらの理由から、算数につきましては教育出版を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「算数」は「教育出版」を採択することといたします。
続きまして、理科についてです。これまでの議論を踏まえまして、どの教科書が良いとお考えか、各委員からお願いいたします。

常見委員 私は、東京書籍がいいと思います。理由ですが、まず、A4判で大きくて、圧倒的に見やすいことです。問題解決の各段階が、言葉で大きく示されていて、教科書の左側に「問題をつかもう」から「まとめ」までを1本のラインで結び、子どもが見通しをもって学習し、知識を確実に習得できるよう工夫されているところが良いと思いました。

荒田委員 私も、東京書籍がいいと思います。理由は、例えば、「レベルアップ理科の力」というコーナーでは、実験の結果から考察するために、子どもたちが対話の進め方や内容のヒントとして活用することで、対話的な学びを進めることができるようになっていくところが良いと思いました。

小澤委員 私も、東京書籍が良いと思います。理由は、例えば「理科のミカタ」には、どのような理科の見方・考え方を働かせれば良いのかのヒントが示されていて、子どもが深い学びをするための支援がなされていると思います。理科的な思考や考え方を育てる点で言えば、東京書籍が圧倒的に良いと思いましたので、東京書籍を、と考えました。

笹谷委員 私も、東京書籍がいいと思います。東京書籍の教科書がA4判で写真が大きく鮮明に掲載されていますので、子どもの興味・関心が高まると思います。そのほか「きけんマーク」や巻末の「実験の留意事項」などが掲載されていますので、安全に対する配慮が十分なされている、そういった部分もとても大切だと思います。

林教育長 ありがとうございます。ただ今、御意見をお聞きしたところ、皆様、東京書籍が良いということですが、これも私の方で整理してみましたので申し上げますと、まず常見委員からは、問題解決の各段階を言葉で大きく示すとともに、「問題をつかもう」から「まとめ」までを1本のラインで結び、児童が見通しをもって学習し、知識を確実に習得できるよう工夫されている点が良い、という御意見をいただきました。荒田委員からは、「レベルアップ理科の力」において対話の具体例が示され、児童が対話の進め方や内容のヒントとして活用することで、対話的な学びを進めることができるようになっていくところが良い、という御意見をいただきました。小澤委員からは、「理科のミカタ」について、どのような理科の見方・考え方を働かせれば良いのかのヒントが示されている、児童が深い学びをするための支援がなされているという点が良い、という御意見をいただきました。笹谷委員からは、教科書がA4判で写真が大きく鮮明に掲載されていることで児童の興味・関心を高めるとともに、「きけんマーク」や巻末の「実験の留意事項」などを掲載することで安全に対する配慮がなされている点が良い、という御意見をいただきましたので、これらの理由から、理科につきましては東京書籍を採択したいと思いますが、皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「理科」は「東京書籍」を採択することといたします。
次に、生活科について、皆様方の御意見を頂戴したいと思います。

笹谷委員 私は、東京書籍がいいと思います。理由としまして、最初のページに「どきどき わくわく 1ねんせい」というのがありまして、写真が豊富に掲載されていて、幼児期の学びを土台に学習を進めるという流れになっていますので、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように工夫されていると思いますので、東京書籍がいいと思います。

小澤委員 私も、東京書籍がいいと思います。例えば「学びをふかめる」コーナーでは、登場人物の吹き出しによって、生活科での「主体的・対話的で深い学び」を具体的にイメージできるようになっているところが良いと思いましたので、東京書籍を、と考えました。

常見委員 私も、東京書籍がいいと思います。理由は、それぞれの季節に見られる主な動植物を実物大で描いている「ほんとうのおおきさ ポケット ずかん」や、巻末の「かつどう べんりてちょう」など、豊富な資料で、学習効果を高められるようになっているところが良いと思います。

荒田委員 私も、東京書籍がいいと思います。理由は、季節ごとの行事や野外活動などを取り上げ、雪や氷を使った遊びなどが紹介されていることです。札幌雪まつりなど、北海道と関連のある題材も掲載されており、子どもたちが親しみをもって学習できると考えました。

林教育長 ありがとうございます。ただ今の御意見をお聞きしますと、東京書籍が良いということと皆さん意見が一致いたしました。ただ今の皆様からいただいた御意見を整理してみますと、まず笹谷委員からは、「どきどき わくわく 1ねんせい」で、幼児期の学びを土台に学習を進める構成となっている、児童が安心して学校生活を送ることができるように工夫されている点が良い、という御意見をいただきました。小澤委員からは、「学びをふかめる」コーナーで、登場人物の吹き出しによって、生活科における「主体的・対話的で深い学び」を具体的にイメージできるようになっている、という御意見。常見委員からは、それぞれの季節に見られる主な動植物を実物大で描いた「ほんとうのおおきさ ポケット ずかん」や、巻末の「かつどう べんりてちょう」は、豊富な資料で学習効果を高められるようになっている点が良い、という御意見をいただきました。荒田委員からは、季節ごとの行事や野外活動などを取り上げ、雪や氷を使った遊びなどが紹介されているとともに、札幌雪まつりなど、北海道と関連のある題材が掲載されており、親しみをもって学習することができる、という御意見をいただきましたので、これらの理由から、生活科については東京書籍を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「生活科」は「東京書籍」を採択いたします。

次に、音楽について、委員の皆様にも、これまでの議論を踏まえて御意見をいただきたいと思っております。

常見委員 私は、教育芸術社がいいと思います。理由なのですが、例えば、1年生の指導では、リズムの取り方が絵で描かれているのがとても分かりやすく良いと思いました。優しい感じで、楽しい絵が多く、子どもにとって楽しいのではないかと思います。

荒田委員 私も、教育芸術社がいいと思います。理由は、音楽家や作曲家のところがよくまとめられていると思います。教育芸術社は、専門的な印象を受ける、ということと、外国の歌が各学年に1つずつ巻末に入っていることが特徴的だと思います。

笹谷委員 私は、教育出版がいいと思います。教育出版では、鍵盤ハーモニカなどの学習内容が丁寧に記載されていると思いました。鍵盤ハーモニカの、息の強さや長さを図形で示したり、黒鍵のところを「山」と表現したり、子どもたちにとって大変分かりやすく、先生方にとっても指導しやすい教科書ではないかと思います。

小澤委員 私は、教育出版と教育芸術社、どちらがいいのか悩んでいました。最初は、教育芸術社は、リズム中心で指導がされていて、学校でよく歌われている曲も掲載されているので、良さそうだと思いましたが、教育出版は、先ほど笹谷委員がおっしゃいましたように、器楽の指導が分かりやすく、先生方が指導しやすいのかなと思います。あと、巻末に「全校合唱」として、全校で歌える曲を掲載し、1年生から6年生まで全校で音楽を楽しむ配慮がなされている。そんな点で、教育出版が良いと考えるに至りました。

林教育長 ありがとうございます。ただ今の御意見では、教育芸術社と教育出版が良いということでしたけれども、各委員の御意見をお聞きして、何か御意見ございましたらお願いします。

笹谷委員 先ほど意見を申し上げたほかに、教育出版では、鍵盤ハーモニカだけでなくリコーダーの指使いも大変丁寧に記載されておりまして、そのほか、音符や休符、記号など、新しく習う学習事項が教科書の右側に分かりやすくまとめられていて、着実に習得できるような配慮がされていると思いました。そういう点でも教育出版がいいかと思います。

小澤委員 私も、先ほどの「全校合唱」に加えまして、4年生の教科書には、北海道の民謡のソーラン節の表現活動が掲載されているのが特徴的であると思いますので、やはり北海道の子どもたちにとって、郷土の民謡を学ぶことは非常に大切なことだと思いますので、改めて、教育出版が良いと思います。

常見委員 改めて見させていただいて、先ほどの笹谷委員のお話から、教育出版は楽器の指導が分かりやすく、子どもにとって分かりやすく、先生方が指導しやすいという点がよく分かりました。教育出版は紙面の左上に「学習のめあて」と学び方を示唆する「まなびナビ」というものが示されていますので、子どもが主体的に学習内容を捉え、見通しをもって学習できるよう工夫されているという点で、教育出版も良いのではないかと思います。

荒田委員 私も、教育芸術社は、音楽科の教科書として専門的な印象を受け、良いと思っておりましたが、今ほど小澤委員がおっしゃいましたように、教育出版は、全校合唱を掲載し、全校で音楽を楽しむ配慮がなされていることや、北海道民謡のソーラン節の表現活動が掲載されており、教育出版も良いのではないかと思います。それから、教育出版は、曲のイメージを膨らませるための鮮明な写真やイラストが豊富であること、さらに、透明シートや折込ページも設定されており、子どもが想像豊かに学習を展開するための効果的な紙面構成となっているという部分もありますので、子どもたちが学びやすい教科書だなと思います。

林教育長 ありがとうございます。ただ今の御意見で、曲のイメージを膨らませるための写真やイラストが豊富であることや、北海道民謡のソーラン節の表現活動が掲載されていることなど、子どもにとって学習しやすく、先生方にとって指導しやすいという観点から、総合的に教育出版が良いという御意見にまとまりましたので、各委員からいただいた主な御意見を私の方で改めて整理させていただきますと、常見委員からは、紙面左上に「学習のめあて」と学び方を示唆する「まなびナビ」が示され、児童が主体的に学習内容を捉え、見通しをもって学習できるよう工夫されている、という御意見。荒田委員からは、曲のイメージを膨らませるための写真やイラストが豊富であり、透明シートや折込ページを設定するなど、児童が想像豊かに学習を展開するための効果的な紙面構成となっている、という御意見。笹谷委員からは、鍵盤ハーモニカやリコーダーの学習内容が丁寧に記載されており、運指、音符や休符、記号などの新出事項が着実に習得できるよう配慮されている点がいい、という御意見。小澤委員からは、第4学年に北海道民謡のソーラン節の表現活動が掲載されていることと、全学年の巻末「音楽ランド」には「全校合唱」の曲が掲載されており、全校児童で音楽を楽しむ配慮がなされている点が良いのではないかと、という御意見をいただきましたので、これらの理由から、音楽につきましては教育出版を採択したいと思います、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「音楽」につきましては「教育出版」を採択することといたします。

続きまして、図画工作についてですが、これまでの議論を踏まえまして、各委員の御意見を頂戴したいと思います。

小澤委員 私は、日本文教出版がいいと思います。理由としては、題材ページの冒頭に、黒板のようなイラストの上に「学習のめあて」が提示されて分かりやすいので、子どもたちが主体的に目標を見付け、授業の流れをイメージしながら活動できるよう工夫されているところが良いと思いますので、日本文教出版を、と考えました。

笹谷委員 私も、日本文教出版がいいと思います。掲載されている子どもの作品や授業の情景写真など、全て実際の授業で撮影されたものが使われているということで、子どもたちにとって分かりやすく、学習への関心や意欲が高まるよう配慮されていると感じました。また、いろいろ

ると身近な素材が豊富に掲載されているところも大変良いと思います。

常見委員 私は、開隆堂がいいと思いました。理由なのですが、造形や工作の分野で、簡潔に掲載されているのがとても良いと感じています。日本文教出版も良いとは思いましたが、詳しく説明しすぎているような印象を受けたので、どちらかと言えば開隆堂かなと思った次第です。

荒田委員 私は、日本文教出版がいいと思います。理由は、教科書の下の方に「きをつけよう」「かたづけ」などがマークで示されていて、安全面や片付け方、用具の種類など、子どもたちにとって直感的で分かりやすい紙面構成となっているところが良いと思いましたので、日本文教出版が良いと思います。

林教育長 ありがとうございます。今の御意見をまとめますと、日本文教出版が良いという御意見が3名でした。ただ今の各委員の御意見をお聞きして、常見委員いかがでしょうか。

常見委員 先ほどは、開隆堂のほうが造形・工作の説明が簡潔で良いと申し上げたのですが、比較して見ていくと、日本文教出版は、巻末に、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう、材料や方法などが豊富に掲載されているという点で、子どもたちにとって発展的に学習することができるようになってきているという優れた面があります。そういう点などを考えまして、あと皆様のお話をお聞きしますと、日本文教出版も良いのではないかと感じられました。

林教育長 ありがとうございます。それでは、日本文教出版が良いのではないかとということで委員の意見がまとまったと思いますので、私の方から各委員の意見を整理して申し上げたいと思います。まず小澤委員からですが、題材ページの冒頭に「学習のめあて」が提示され、児童が主体的に目標を見付け、授業の流れをイメージしながら活動できるよう工夫がされている点がいいのではないかと、という御意見。笹谷委員からは、掲載されている児童作品や授業の情景写真は、全て実際の授業で撮影されたものが使用されており、児童にとって分かりやすく、学習への関心・意欲が高まるよう配慮されている点が良い、という御意見をいただきました。荒田委員からは、教科書の下部に「きをつけよう」「かたづけ」などがマークで示されており、安全面や片付け方、用具の種類など、児童にとって直感的で分かりやすい紙面構成になっている、という御意見。常見委員からは再度御意見をいただきましたけれども、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるようにするなど構成に工夫がなされ、児童が発展的に学習することができるようになってきている、という点で総合的に日本文教出版でも良いのではないかと、という御意見をいただきました。これらの理由から、図画工作については日本文教出版を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「図画工作」につきましては「日本文教出版」を採択することといたします。

次に、家庭科についてです。これまでの議論を踏まえまして、どの教科書が良いのか、それぞれ各委員の御意見を頂戴したいと思います。

小澤委員 私は、開隆堂がいいと思います。理由としては、各題材が「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つの小題材で構成されているので、子どもたちが主体的に考え、問題解決型の学習を進めることができるよう工夫されているところが良いと思いました。また、開隆堂は、版は小さいのですが、例えば裁縫の学習では、細かな写真になりますが、赤い糸がとても見やすく掲載されていますし、調理の場面でも、手順が黒丸に白抜きで書かれていて、初めて学習する子どもたちにも手順が分かりやすく書かれているので、開隆堂が良いと考えました。

荒田委員 私も、開隆堂がいいと思います。理由は、イラストの登場人物が学習のガイド役をしており、身近な生活から課題を見付けて、子どもたちが自分自身の経験を踏まえて気づきや思考を引き出すことができるようになっていて、より詳しく丁寧な構成になっていると感じましたので、開隆堂がいいと思います。

笹谷委員 私も、開隆堂がいいと思います。開隆堂では、裁縫やミシンを扱う場面で、特に安全面で配慮しなければならない点が記述されているだけではなく、道具や機械の扱い方が大変具体的に示されていたので、子どもたちにとって分かりやすい教科書ではないかと思います。

常見委員 私は、東京書籍がいいと思いました。理由は、衣食住のマークがあって分かりやすいことや、教科書が大きいので、例えば包丁の使い方など用具の使い方が大きな写真で説明されているので、見やすい教科書ではないかと思いました。

林教育長 ありがとうございます。ただ今、各委員からの御意見を頂戴しましたがけれども、開隆堂が良いという御意見が3名でした。常見委員は東京書籍が良いということですがけれども、ただ今の各委員の御意見をお聞きになって、再度常見委員の御意見をお伺いしたいのですが。

常見委員 私は、見やすさの点で東京書籍を薦めたのですが、先ほど小澤委員の御意見をお聞きして、開隆堂が、子どもが主体的に考え、問題解決型の学習を進めることができるよう工夫されているということが分かりました。生活時間をマネジメントする題材で、子どもが自分の1日を記入して振り返り、課題を見付けて具体的にどのように改善するかを深く考えることができるよう構成されております。「生活を見直す」「計画を立てる」「実行する」「振り返る・続ける」といったマネジメントサイクルが明記されているところが確かに良いのではないかと思います。生活習慣の改善ということを考えると、開隆堂で良いのではないかと思います。

林教育長 ありがとうございます。再度常見委員の御意見を頂戴しましたがけれども、開隆堂が良いという意見にまとまりましたので、各委員の御意見を私の方でまた整理して申し上げますけれども、まず小澤委員からは、各題材が「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深

める」の3つの小題材で構成され、児童が主体的に考え、問題解決型の学習を進めることができるよう工夫されている点が良いのではないか、という御意見をいただきました。荒田委員からは、イラストの登場人物が学習のガイド役をしており、身近な生活から課題を見付け、児童が自身の経験を踏まえて気付きや思考を引き出すことができるようになっている点が良いのではないか、という御意見。笹谷委員からは、裁縫やミシンを扱う場面では、特に安全面で配慮すべき点が記述されるとともに、道具や機械の扱い方が具体的に示されているなど、児童にとって分かりやすい点が良い、という御意見をいただきました。常見委員からは再度御意見を頂戴し、生活時間をマネジメントする題材では、児童が自らの1日を記入して振り返り、課題を見付けて具体的にどのように改善するかを深く考えることができるよう構成されている、という御意見をいただきました。これらの理由から、家庭科につきましては開隆堂を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「家庭科」につきましては「開隆堂」を採択することといたします。

次に、保健について協議させていただきたいと思います。これまでの議論を踏まえまして、どの教科書が良いか、各委員から御意見を頂戴したいと思います。

小澤委員 私は、東京書籍が良いと思います。各単元が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップで構成されており、子どもが主体的に学習を進めることができるように工夫されているところが良いと思いました。また、単元の始めに単元の目標を示し、どのような学習を進め、どのような力を身に付けるのかが明確になっているところも良いと思いましたので、東京書籍を推薦したいと思います。

荒田委員 私も、東京書籍が良いと思います。交通事故の原因や道路の除雪、インターネットによる犯罪被害などが掲載されていて、事故などの防止について子どもたちが主体的に考え、学習したことを、自分の生活に生かすことができるようになっている構成だと感じましたので、東京書籍が良いと思います。

常見委員 私も、東京書籍が良いと思います。理由ですが、手の洗い方が写真とともに具体的に掲載されている点や、怪我の手当や感染症の予防についてのイラストが分かりやすく、加えて正確であること。それらのことが、子どもたちが実生活に役立てることができるよう配慮されているようなところが良いと思いました。

笹谷委員 私も、東京書籍が良いと思います。子どもたちが考え、判断し、表現したことを書くスペースが豊富に設けられていて、章末にもっと知りたいと思ったことを書く欄を設けるなど、学習を振り返って、今後の学習へ生かしたり、他の教科の学習につなげたりすることができるように工夫されているところが大変良いと思います。

林教育長 ありがとうございます。皆様、東京書籍が良いということで意見がまとまりました。皆様の御意見を私の方で申し上げますと、小澤委員からは、各単元が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップで構成されており、児童が主体的に学習を進めることができるよう工夫されている点が良いのではないか、という御意見をいただきました。荒田委員からは、交通事故の原因や道路の除雪、インターネットによる犯罪被害などを掲載することで、事故等の防止について児童が主体的に考え、学習したことを自分の生活に生かすことができるようになっていく点が良いのではないか、という御意見をいただきました。常見委員からは、手の洗い方が写真とともに具体的に掲載されていることと、怪我の手当や感染症の予防についてのイラストが分かりやすく、児童が実生活に役立てることができるよう配慮されているところが良いのではないか、という御意見。笹谷委員からは、思考・判断・表現したことを書くスペースが豊富に設けられていることと、章末にもっと知りたいと思っていることを書く欄を設けるなど、学習を振り返り、今後の学習へ生かすことができるようになっていく点が良い、という御意見をいただきました。これらの理由から、保健については東京書籍を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「保健」については「東京書籍」を採択することといたします。

次に、外国語についてですけれども、これまでの議論を踏まえまして、どの教科書が良いとお考えでしょうか。各委員からの御意見を頂戴したいと思います。

笹谷委員 大変難しかったのですが、私は、最終的には光村図書がいいと思います。理由としましては、それぞれのユニットが「Hop!」「Step1」「Step2」「Jump!」という4つのステップで構成されており、子どもたちが見通しをもって自分で進んで学習に取り組むことができる、そういう工夫がされていますので、大変分かりやすいのではないかと思います。また、「書く」ということを強く意識しているような印象を受けましたので、光村図書がいいのではないかと思います。

常見委員 私は、東京書籍が楽しそうでいいなと思いました。理由の一つとしては、東京書籍だけが「ピクチャー・ディクショナリー」という別冊が付いていて、授業中や家庭など、様々な場面で活用することができて、扱いやすいのではないかと思ったからです。

小澤委員 私もいろいろ考えながら悩みましたけれども、開隆堂が良いのではないかと思います。理由は、3・4年生からの外国語活動からのつながりが大切だということを考えると、開隆堂の内容が、やさしく感じたので、子どもたちにとって学習しやすい教科書ではないかと思ったからです。

荒田委員 私も悩んだのですが、光村図書がいいと思いました。光村図書は、絵が多く、指示などが日本語で丁寧に書かれているので、子どもにとって学習しやすく、先生も指導しやす

いのではないかと思います。また、先ほど、笹谷委員もおっしゃっていましたが、5・6年生には書く活動も入ってきますので、各ユニットに「Let's write」が設けられ、書く活動に慣れることができるよう配慮されているという印象を受けましたので、光村図書が良かったと思います。

林教育長 ありがとうございます。各委員の御意見を集約しますと、ただ今の御意見では、光村図書が良いという方がお2人、あとは東京書籍と開隆堂が良いということでしたけれども、他の委員の御意見をお聞きして、何か御意見ございませんでしょうか。

笹谷委員 先ほど、光村図書では、子どもたちが見通しをもって自から進んで学習に取り組むことができるような工夫がされているという話をしたのですが、ユニットごとに「振り返る」場面を位置付けているというのが、光村図書と開隆堂だったと思います。学習したことが分かったかどうか、子どもたちが自己評価することは主体的な学びにつながる大切な活動だと思います。また、東京書籍には別冊として「ピクチャー・ディクショナリー」が付いていますけれども、辞書機能は光村図書では巻末に掲載されており、別冊になっているというのが、紛失してしまう可能性があるのではないかと、ちょっと危惧しております。

荒田委員 先ほど、光村図書が良いと申し上げた理由のほかに、先ほど笹谷委員からも（発言が）ありましたけれども、光村図書は、別冊ではなく各学年の巻末に絵辞典が掲載されています。場面に合わせて様々な言葉を選んで学習することができるので、子どもたちが興味・関心をもって英語を学ぶことができるのではないかと思います。

小澤委員 私は先ほど、開隆堂が、中学年からの接続を考えると良いのではないかと発言しましたが、皆さんのお話を聞いて、光村図書を改めて見ますと、中学年の外国語活動で「Let's Try!」で学習した表現や語彙を繰り返し使えるようにしており、3・4年生の外国語活動で学習したことを円滑に接続することができるように配慮されていることが分かりましたので、総合的に考えて光村図書が良いのではないかと思います。

常見委員 私は、東京書籍が楽しそうでいいと申し上げていたのですが、先ほど笹谷委員・荒田委員から、子どもにとって分かりやすいというお話がありまして、確かにそういった観点で見ると、光村図書は、各ユニットの導入で動画を見て五感を使ってスタートできる点でも確かに優れていると思います。聞く活動から始まり、話す活動を通して、徐々に読む・書く活動へと無理のないスモールステップで構成されているので、子どもたちが楽しみながら言葉を使う力を身に付けることができるようになると思います。これらを考えると、光村図書も評価できるのではないかと思います。

林教育長 ありがとうございます。ただ今の御意見を総合しますと、3・4年生の外国語活動からの円滑なつながりや、子どもたちにとって、無理なく楽しみながら学ぶことができるなど、子どもたちにとって学習しやすく、先生方にとって指導しやすいという面があるという（小

澤・常見) 両委員からの御意見もございましたので、光村図書が良いのではないかという御意見が大勢を占めたと思えました。皆様からいただいた主な意見を私の方で整理させていただきますと、笹谷委員からは、各ユニットが「Hop!」「Step1」「Step2」「Jump!」の4つのステップで構成されており、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫されているところが良いのではないか、という御意見がございました。常見委員からは、聞く活動から始まり、話す活動を通して、徐々に読む・書く活動へと無理のないスモールステップで構成されており、児童が楽しみながら言葉を使う力を身に付けることができるようになっていく、という御意見。小澤委員からは、中学年の外国語活動教材「Let's Try!」で学習した表現や語彙を繰り返し使えるようにしており、外国語活動で学習したことを円滑に接続することができるよう配慮されている、という御意見。荒田委員からは、各学年の巻末に絵辞典を掲載することで、児童が興味・関心をもって英語を学ぶとともに、「Let's write」を設けることで、書く活動に慣れることができるよう配慮されている点が良いのではないか、という御意見をいただきました。これらの理由から、外国語につきましては光村図書を採択したいと思っておりますが、皆様いかがでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「外国語」は「光村図書」を採択することといたします。

次に、道徳についてですが、これまでの議論を踏まえまして、各委員、どの教科書が良いとお考えか、御意見を頂戴したいと思います。

笹谷委員 私は、光村図書がいいと思います。光村図書では、学習のてびきの「考えよう・話し合おう」で、学習のめあてと3つの問いが示されており、特に中心となる問いに「◎」を付けてあり、子どもたちが見通しをもって主体的に学ぶことができ、話し合いがしやすい、そういった工夫がされているのではないかと思います。

荒田委員 私も、光村図書がいいと思います。理由は、「キャラクターによる問いかけ」や日常生活につながる「つなげよう」が配置されており、子どもたちが多様な感じ方や考え方と触れ合う中で、多角的に考えることができるよう配慮されているところがありますので、(光村図書が) いいと思います。

常見委員 私も、光村図書がいいと思います。理由は、子どもが、実感をもって道徳的価値について考えを深めることができるように「演じて考えよう」というコーナーが設けられていて、子どもたちが役割演技を通して、体験的に学ぶことができるようになっていくところが良いと思います。

小澤委員 私も、光村図書が良いと思います。理由は、学習のまとまりの区切りに「学びの記録」が設けられており、毎時間の学びの記録がつけられるようになっています。そしてひとつの区切りが終わったら、その段階で改めて「まとめ」においてこれまでの自分の学びの変化や成

長を振り返ることができるような教科書の構成となっているところが良いと思いました。

林教育長 ありがとうございます。ただ今の御意見をまとめますと、皆様、光村図書が良いということ。皆様の御意見を整理してみましたので申し上げますと、まず笹谷委員からは、学習のてびきの「考えよう・話し合おう」では、学習のめあてと3つの問いが示され、特に中心となる問いには「◎」で示すなど、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫されている点が良いのではないか、という御意見。荒田委員からは、「キャラクターによる問いかけ」や日常生活につながる「つなげよう」が配置されており、児童が多様な感じ方や考え方と触れ合う中で、多角的に考えることができるよう配慮されている点が良いのではないか、という御意見。常見委員からは、児童が、実感をもって道徳的価値について考えを深めることができるよう「演じて考えよう」が設けられ、役割演技を通して体験的に学ぶことができるようになってきている点が良い、という御意見。小澤委員からは、学習のまとまりの区切りに「学びの記録」が設けられており、毎時間の学びの記録をつけるとともに、「まとめ」において児童が自分の学びの変化や成長を振り返ることができるような構成となっている点が良いのではないか、という御意見をいただきました。これらの理由から、道徳については光村図書を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、「道徳」は「光村図書」を採択することといたします。

 なお、採択の理由につきましては、委員の皆様の御意見を踏まえまして、直ちに事務局に整理させますので、後ほど採択理由書について協議していただきたいと思いますが、それではよろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、事務局、急いでよろしくお願ひします。

 それでは最後になりますけれども、特別支援学級で使用する教科書についてです。道教委の採択基準にのっとりまして、当該学年の教科書を使用することが適当でない場合は、児童一人一人の実態に応じて、できるだけ選択の幅を広げて考えていくことが必要となりますことから、次の3点を使用できるようにしたいと考えております。

 1つ目は、今回、採択した下学年用の教科書。

 2つ目は、文部科学省著作教科書。

 3つ目は、北海道教育委員会の「令和2年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料の一般図書一覧」に掲載されている一般図書。なお、一般図書につきましては、調査研究をした結果、道教委の採択参考資料に掲載されている一般図書が望ましいと判断いたしましたので、道教委の採択参考資料に掲載されている一般図書を、教科用図書として使用してもよいということにしたいと思ひます。

以上3点を、特別支援学級において使用できるよう採択したいと考えますが、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 以上で、議案第1号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択について、特別支援も含めまして、終了させていただきます。

議案第2号 令和2年度使用小樽市中学校用教科用図書の採択について

林教育長 それでは、議案第2号 令和2年度使用小樽市中学校用教科用図書の採択について、でございます。本議案では、これまでの協議を踏まえまして、令和2年度使用小樽市中学校用教科用図書について採択したいと思いますので、よろしく願いいたします。

はじめに、これまでの経過について確認させていただきたいと思います。議案の一番最後にあります採択経過を御覧いただきたいと思います。

まず、5月30日の教育委員会第5回定例会におきまして、今回、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書がないことなどから、採択に当たっては調査委員会を設置せず、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度採択における調査研究の内容等を活用するなどして採択を行うことを議決していただきました。

6月27日の教育委員会第6回定例会において、今後の進め方について確認させていただき、7月25日の教育委員会勉強会において、平成27年度採択における調査研究報告書や採択理由書、平成27年度時点からの変更箇所について確認するとともに、8月7日の勉強会においても、採択に向けた協議をしていただきました。

採択経過につきましては、以上でございます。

次に、議案の3枚目を御覧いただきたいと思います。これまでの協議を踏まえまして、令和2年度使用小樽市中学校用教科用図書につきましては、今回、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書がないことや、現在使用しております教科用図書は平成27年度に綿密な調査研究を十分行って採択したものであること、4年間使用してきたなかで特に問題が生じていないこと、来年は令和3年度から使用する新しい教科用図書の採択がありますことから、引き続き、平成27年度に採択した際の別紙の理由により、議案2枚目にあります、平成27年度に採択した教科用図書を採択したいと思います。皆様いかがでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、そのようにしたいと思います。

なお、特別支援学級につきましては、文部科学省著作教科書に加えまして、道教委の採択基準に示されております文部科学省検定済教科書の下学年用及び一般図書を使用してもよいことを認めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、そのように決定いたします。以上で、議案第2号 令和2年度使用小樽市中学校用教科用図書採択について、終了いたします。

それでは、報告第1号 小中学校の学校再編について、説明をお願いします。

報告第1号 小中学校の学校再編について

学校教育支援室主幹(市立学校適正配置担当) 報告第1号 小中学校の学校再編について、御説明いたします。報告第1号を御覧ください。

朝里小学校・豊倉小学校統合協議会につきましては、令和2年8月27日に第2回協議会を開催いたしました。

協議の概要ですが、統合校の教育目標及び特色ある学校づくりについては、統合を「さらに魅力ある新しい学校づくりを進める機会」とするため、統合校の新しい教育目標を設定し、その下で特色ある学校づくりを進めることといたしました。また、新しい教育目標や特色ある学校づくりの参考とするため、両校児童や保護者、地域を対象にアンケートを実施することといたしました。

次に統合校の校名、校歌、校章については、「朝里」という言葉がこの地域の名称として広く使用されていることから、現在の朝里小学校の校名、校歌、校章を引き続き使用することといたしました。このため、小樽市立学校設置条例の改正に向けた協議を10月の教育委員会定例会でお願いする予定です。

次に通学の安全確保については、豊倉小学校の通学区域から朝里小学校までの新たな通学路について夏季と冬季の2回、教職員、保護者、地域で点検を行い、結果を基に協議を行うことといたしました。

次に児童の事前交流については、5月に実施した合同遠足や8月に実施した朝里中学校吹奏楽部演奏会鑑賞の様子、今後の予定について報告がありました。

報告は以上です。

林教育長 ただ今の報告につきまして、御質問・御意見等ございましたらお願いいたします。

笹谷委員 今回、保護者の方が2名しか出席されていないということですが、これはどちらの学校の保護者の方でしょうか。

学校教育支援室主幹(市立学校適正配置担当) 統合協議会の委員に保護者は2名しかおりません。

笹谷委員 そうなのですか。

学校教育支援室主幹(市立学校適正配置担当) 両校ともPTA会長さんに出ています。

笹谷委員 (両校) お一人ずつ。

学校教育支援室主幹(市立学校適正配置担当) 豊倉小学校の学校規模から申し上げまして、あまり人数を増やせないということもございまして、こういう形で委員のメンバーとさせていただいております。

笹谷委員 豊倉小学校のほうは正直、人数が少ないので、このお話がちゃんと伝わるかと思うのですが、朝里小学校のほうで、会長さんお一人ということなので、しっかりと(朝里)小学校の保護者の方にも伝わるようお願いしたいと思います。

学校教育支援室主幹(市立学校適正配置担当) 統合協議会の様子につきましては、統合協議会ニュースというものを作成いたしまして、全保護者、全家庭に、あと地域にも回覧で回るように統合協議会ニュースを作成して周知を図りたいと思っております。

林教育長 笹谷委員、よろしいでしょうか。

笹谷委員 はい。

林教育長 ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、本件を終了させていただきます。

次に、報告第2号 小樽市立学校における働き方改革行動計画の改定について、説明をお願いします。

報告第2号 小樽市立学校における働き方改革行動計画の改定について

教育総務課長 報告第2号 小樽市立学校における働き方改革行動計画の改定について、御説明いたします。

平成30年3月に道教委から示されました「学校における働き方改革北海道アクションプラン」を受け、小樽市教育委員会において同年7月、「小樽市立学校における働き方改革行動計画」を策定し、教職員の負担軽減に向け、市教委と学校で取り組んでいるところです。

1枚めくっていただき1ページを御覧ください。今回の変更箇所について下線を付しておりますが、このたび、中央教育審議会の答申「学校における働き方改革に関する総合的な方策」、文部科学省の「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」、「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」が示されたことに伴い、道教委のアクションプランが令和元年7月に見直されたところです。小樽市教育委員会においても、この見直しに伴い、本行動計画について改定を行いました。

主な改正点については下線部分ですが、まず1ページの「1 はじめに」の部分ですが、昨今の教職員の働き方改革の状況について、国から新たに示された通知等について追加しております。

次に2ページの「3 行動計画の期間」ですが、「平成32年度」を「令和2年度」に文言修正しております。

次に「4 行動計画の目標及び指標」の部分ですが、この説明の前に、5ページの「6 小樽市立学校の教員の勤務時間の上限について」を丸ごと追加したのですが、こちらについて説明させていただきます。この部分は文部科学省から示された「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」に記載されたものでして、道教委は、今回これを受けてアクションプランに新たに追加した、ということで、小樽市教育委員会もそれに準じて同じものを追加したところです。この内容につきましては、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法、俗に言う「給特法」ですが、こちらに規定する教育職員については、いわゆる「超勤4項目」以外の時間外勤務がないことから、教員の在校時間や校外での勤務時間から休憩時間を差し引いた時間を「在校等時間」とし、基本的には、1か月の在校等時間から条例で定めた勤務時間を差し引いた時間が45時間を超えないよう、また年間にとすると360時間を超えないようにする、というものです。また7ページでタイムカード等の記載がありますが、教職員の勤務時間を管理するためのICカードを用いた勤務時間の記録を、小樽市では今年度全校で実施しているところです。

これらの部分を踏まえまして、2ページに戻っていただき、「4 行動計画の目標及び指標」について、以前は「1週間当たりの勤務時間が60時間を超える教職員をゼロにする。」という目標だったのですが、今回「教員の在校等時間から条例で定める勤務時間等を減じた時間を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とする。」に変更されております。5ページの4行目も「1週間当たりの勤務時間が60時間」という部分を「1か月あたりの勤務時間が45時間」と直しております。

最後に9ページの年度計画表です。一番上の年号の「H32」を「R2」に修正いたしました。一番下に「勤務時間上限の設定」という文言を追加して、平成31年度は年度中に実施の「○」、令和2年度は「◎」（年度当初から実施）と記載しております。

説明は以上となります。

林教育長 ただ今の説明に関しまして、御意見・御質問等あればお願いいたします。

よろしいでしょうか。国の方針に沿って、本市においても改正をしたいという内容でございます。よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、本件を終了させていただきます。

それでは、その他の報告の関係で、寄附採納について、説明をお願いいたします。

その他の報告 寄附採納について

教育総務課長 寄付が3件ございましたので、御報告いたします。

1件目は、江良 惣一郎様から、北陵中学校に対し、部活動応援旗、プロジェクター、生徒用図書35冊、計49万8,524円相当を御寄贈いただきました。江良様は末広中学校の卒業生であり、北山中学校と末広中学校の統合校である北陵中学校の教育活動・部活動充実のために役立ててほしいとのことでした。昨年も260冊、50万円相当の生徒用図書、平成29年も190冊、約50万円相当の図書、平成27年には、リトグラフの絵3枚、90万円相当を末広中学校に御寄贈いただいております。資料には、経営されています会社名と代表取締役社長の肩書きを記載しておりますが、御寄贈は江良様個人としていただいております。

2件目は、公益財団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部様から、同じく北陵中学校に対し、学校図書20万円相当を御寄贈いただきました。北陵中学校が、同支部の学校図書助成事業に応募したところ採択されたものでありますが、この事業は平成23年度から実施されており、昨年度までの同支部の実績としては道内で約5万冊となっています。

3件目は、匿名の方から長橋小学校、花園小学校に対し児童用図書合計1,851冊、309万4,425円相当を御寄贈いただきました。寄贈者の亡くなられたお母様が長橋小学校の卒業生、御本人は花園小学校に通ったことがあるということから、両校への寄贈となったものです。また、過去では、長橋小学校に、平成29年に児童用図書255冊、99万3,140円相当、平成27年には児童用図書334冊、104万4,909円相当の御寄贈をいただいております。

報告は以上でございます。

林教育長 はい、ありがとうございます。

本件に関しまして、御意見・御質問等ございますでしょうか。よろしいですか。

各委員 (なし)

林教育長 すごい額の御寄贈をいただき、大変感謝しているところでございます。

よろしいでしょうか。それでは本件を終了させていただきます。

小澤委員 すみません、ちょっと休憩をとってもらってもいいですか。

林教育長 はい、それでは若干休憩をとりたいと思いますけれども。

教育総務課総務係長 (午後) 3時40分再開予定ということでどうでしょうか。

林教育長 では(午後) 3時40分再開で暫時休憩をいたします。

< 暫時休憩 >

林教育長 それでは、休憩前に続きまして、会議を再開したいと思います。

報告第2号 小樽市立学校における働き方改革行動計画の改定について、先ほど説明をしましたが、一部訂正があるとの報告がありましたので、再度説明をお願いします。

教育総務課長 大変申し訳ございません。報告第2号の5ページの記載の中で、表現に誤りがありましたので訂正させていただきたいと思います。5ページの上から4行目に下線を付した「1か月あたりの勤務時間が45時間」という記載になっておりますが、正しくは2ページの「目標」でございます「在校等時間から条例で定める勤務時間等を減じた時間が1か月で45時間」を超える、という形で訂正させていただきたいと思います。申し訳ありませんでした。

林教育長 「目標」にある文言をそのままここに差し込む形ということでしょうか。

教育総務課長 はい。

林教育長 意味が違うのですね。こうしないと計算上合わないということですね。

よろしいでしょうか。在校等時間から条例で定める勤務時間等を減じた時間、1か月当たりの勤務時間が45時間を超える職員に対しては、という表現にするということですね。

小澤委員 「1年間…」は入れないのかな。

林教育長 年間（360時間）は入れないのですね。

教育総務課長 はい、年間（360時間）は入れないです。簡単に言いますと残業時間が月45時間を超えるというような、そういう内容でございます。

荒田委員 残業時間が45時間まで、と。それを、在校等時間から条例で定める勤務時間を減じた時間が45時間まで、そういう言葉が入る、と。

林教育長 そういうことですね。よろしいでしょうか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、本件を終了させていただきます。

それでは、議案第3号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択理由書について、説明をお願いします。

議案第3号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択理由書について

学校教育支援室主幹（生徒指導・特別支援担当） 議案第3号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書の採択理由書について、説明させていただきますので、はじめに、議案の2枚目を御覧ください。先ほど、議案第1号において、種目ごとに、ここに記載している一覧の通り採択され、特別支援学級で使用する教科用図書については、当該学年の教科用図書を使用することが適当でない場合は、右記の（1）から（3）を使用できることが議決されましたので、御確認をお願いいたします。

次のページを御覧ください。先ほど、委員の皆様から、採択の理由について御意見をいただきましたので、事務局でこのように整理をさせていただきました。

まず国語です。

学習のてびきに、課題の設定、解決・探究ができる学習過程が明示されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組み、探究的な学びができるよう工夫されている。

単元のとびらには、「これまでの学習」が記載されており、既習事項を振り返りながら、その単元に積極的に取り組むことができるようになっている。

「ノートの例」と「まとめの例」が示されており、児童が参考にすることでより良いノートを作成するとともに、深い学びへと繋げることができるようになっている。

高学年（5・6年生）の教科書が学年1冊の合本となっていることで、学習の見通しや振り返りに活用しやすく、中学校への円滑な接続ができるよう配慮されている。

続きまして書写です。

教材で扱う要素が焦点化されていることで、学習のねらいが明確になっており、自己評価欄を設けるなどして効果的に基礎・基本が身に付けられるよう工夫されている。

各学年の巻頭に、書くときの姿勢と筆記具の持ち方を確認する場を設け、繰り返し確認することで、学習の定着を図ることができるようになっている。

6年生の「書写ブック」に「手紙の書き方」「はがきの表書き」「新聞の書き方の工夫」など各学年で学んだことがまとめられており、学習したことを日常で生かすことができるようになっている。

学習のポイントを示す「たいせつ」や、課題解決のヒントを与えるキャラクターにより、児童が主体的に課題を発見し、解決できるよう配慮されている。

続きまして社会です。

各学年の巻頭に、「社会科の学習の進め方」として「つかむ」「調べる」「まとめる」といった問題解決的な学習の流れが示されており、児童が見通しをもって学習することができるよう工夫されている。

単元の学習後は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に向けて、自分にできることを考えることができるようになっている。

選択して学習する内容については、各学年の目次や本文の下部に「せんとく」として示されており、学習指導要領に示された選択の内容が分かりやすく記載されている。

寒い地域の代表として北海道を取り扱うとともに、アイヌ民族や北方領土など北海道に関する記述が豊富であり、尖閣諸島などの領土問題に関する内容も充実している。

続きまして地図です。

「イラストマップ」「日本地図」「世界地図」「資料図」「統計資料」「索引」という流れで系統的に排列され、児童が学習に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。

田や畑などの土地の様子が鮮明に表現され、山脈や山地の高まりが視覚的に分かりやすく描かれるとともに、重要な地名は太く大きく文字のまわりに縁取りをつけるなど見やすくなっている。

北海道地方南部が100万分の1の縮尺で大きく示されており、北海道の各市町村との位置関係及び距離関係が把握しやすく、特別活動や総合的な学習の時間など、様々な学習で活用することができる。

日本の東西南北端、排他的経済水域が示されるとともに、日本固有の領土である北方領土、竹島、尖閣諸島と東西南北端の写真が掲載されており、正しい国土の認識を養うことができるようになっている。

次のページを御覧下さい。算数です。

問題解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!?’の吹き出しで示し、児童の思考の流れに沿って主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。

ノートづくりを重視し、友達のノートを互いに見て、書き方のいいところを見付ける活動を取り入れることで、思考力・判断力・表現力を高めることができるようになっている。

既習事項を生かして考える「どんちゃん」と、発展的な見方を促す「ぐりちゃん」のキャラクターを設けるなど、児童の学習意欲を高めることができるようになっている。

巻末の「ステップアップ算数」が「きほんの問題」と「ジャンプ問題」で構成され、解答も記載されているなど、個に応じて児童が主体的に学習に取り組むための内容が掲載されている。

続きまして理科です。

問題解決の各段階を言葉で大きく示すとともに、「問題をつかもう」から「まとめ」までを1本のラインで結び、児童が見通しをもって学習し、知識を確実に習得できるよう工夫されている。

「レベルアップ 理科の力」では、対話の具体例が示され、児童が対話の進め方や内容のヒントとして活用することで、対話的な学びを進めることができるようになっている。

「理科のミカタ」には、どのような理科の見方・考え方を働かせれば良いかのヒントが示されており、児童が深い学びをするための支援がなされている。

教科書がA4判で写真が大きく鮮明に掲載されることで児童の興味・関心を高めるとともに、「きけんマーク」や巻末の「実験の留意事項」などを掲載することで安全に対する配慮がなされている。

続きまして生活です。

「どきどき わくわく 1ねんせい」では、幼児期の学びを土台に学習を進める構成となっており、児童が安心して学校生活を送ることができるよう工夫されている。

「学びをふかめる」コーナーでは、登場人物の吹き出しによって、生活科における「主体的・対話的で深い学び」を具体的にイメージできるようになっている。

それぞれの季節に見られる主な動植物を実物大で描いた「ほんとうの おおきさ ポケット

ずかん」や、巻末の「かつどう べんりてちょう」は、豊富な資料で学習効果を高められるようになっている。

季節ごとの行事や野外活動等を取り上げ、雪や氷を使った遊びなどが紹介されているとともに、札幌雪まつりなど、北海道と関連のある題材が掲載されており、親しみをもって学習することができる。

続きまして音楽です。

紙面左上に「学習のめあて」と学び方を示唆する「まなびナビ」が示され、児童が主体的に学習内容を捉え、見通しをもって学習できるよう工夫されている。

曲のイメージを膨らませるための写真やイラストが豊富であり、透明シートや折込ページを設定するなど、児童が想像豊かに学習を展開するための効果的な紙面構成となっている。

鍵盤ハーモニカやリコーダーの学習内容が丁寧に記載されており、運指、音符や休符、記号などの新出事項が着実に習得できるよう配慮されている。

第4学年に北海道民謡の「ソーラン節」の表現活動が掲載されるとともに、全学年の巻末「音楽ランド」には、「全校合唱」の曲が掲載されており、全校児童で音楽を楽しむ配慮がなされている。

次のページで、図画工作です。

題材ページの冒頭に「学習のめあて」が提示され、児童が主体的に目標を見付け、授業の流れをイメージしながら活動できるよう工夫されている。

掲載している児童作品や授業の情景写真は、全て実際の授業で撮影されたものが使用されており、児童にとって分かりやすく、学習への関心・意欲が高まるよう配慮されている。

材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるようにするなど構成に工夫がなされ、児童が発展的に学習することができるようになっている。

教科書の下部に「きをつけよう」「かたづけ」などがマークで示されており、安全面や片付け方、用具の種類など、児童にとって直感的で分かりやすい紙面構成となっている。

続きまして家庭科です。

各題材が「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つの小題材で構成され、児童が主体的に考え、問題解決型の学習を進めることができるよう工夫されている。

イラストの登場人物が学習のガイド役をしており、身近な生活から課題を見付け、児童が自身の経験を踏まえて気づきや思考を引き出すことができるようになっている。

裁縫やミシンを扱う場面では、特に安全面で配慮すべき点が記述されるとともに、道具や機械の扱い方が具体的に示されているなど、児童にとって分かりやすい。

生活時間をマネジメントする題材では、児童が自らの1日を記入して振り返り、課題を見付けて具体的にどのように改善するかを深く考えることができるよう構成されている。

続きまして保健です。

各単元が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップで構成されており、児童が主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。

交通事故の原因や道路の除雪、インターネットによる犯罪被害などを掲載することで、事故等の防止について児童が主体的に考え、学習したことを自分の生活に生かすことができる

ようになっている。

手の洗い方が写真とともに具体的に掲載されるとともに、怪我の手当や感染症の予防についてのイラストが分かりやすく、児童が実生活に役立てることができるよう配慮されている。

思考・判断・表現したことを書くスペースが豊富に設けられるとともに、章末にもっと知りたいと思ったことを書く欄を設けるなど、学習を振り返り、今後の学習へ生かすことができるようになっている。

続きまして外国語です。

各ユニットが「Hop!」「Step1」「Step2」「Jump!」の4つのステップで構成されており、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫されている。

聞く活動から始まり、話す活動を通して、徐々に読む・書く活動へと無理のないスモールステップで構成されており、児童が楽しみながら言葉を使う力を身に付けることができるようになっている。

中学年の外国語活動教材「Let's Try!」で学習した表現や語彙を繰り返し使えるようにしており、外国語活動で学習したことを円滑に接続することができるよう配慮されている。各学年の巻末に絵辞典を掲載することで、児童が興味・関心をもって英語を学ぶとともに、「Let's write」を設けることで、書く活動に慣れることができるよう配慮されている。

最後、道徳です。

学習のてびきの「考えよう・話し合おう」では、学習のめあてと3つの問いが示され、特に中心となる問いには◎で示すなど、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるよう工夫されている。

「キャラクターによる問いかけ」や日常生活につながる「つなげよう」が配置され、児童が多様な感じ方や考え方と触れ合う中で、多角的に考えることができるよう配慮されている。

児童が、実感をもって道徳的価値について考えを深めることができるよう、「演じて考えよう」が設けられ、役割演技を通して体験的に学ぶことができるようになっている。

学習のまとまりの区切りに「学びの記録」が設けられ、毎時間の学びの記録をつけるとともに、「まとめ」において児童が自分の学びの変化や成長を振り返ることができるような構成となっている。

以上、採択理由書について、御審議のほど、よろしくお願いたします。

林教育長 ただ今の説明について、御意見・御質問等ございますでしょうか。
 大体、各委員がおっしゃったこと、整理できているようですので、よろしいでしょうか。

各委員 (異議なし)

林教育長 それでは、本件を終了させていただきます。
 続きまして、議案第4号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書及び小樽市中学校用教科用図書採択結果の公表方法について、説明をお願いします。

議案第4号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書及び小樽市中学校用教科用図書採択結果の公表方法について

学校教育支援室主幹（学務担当） 議案第4号 令和2年度使用小樽市小学校用教科用図書及び小樽市中学校用教科用図書採択結果の公表方法について、御説明いたします。

2枚目の資料を御覧ください。公表の方法、場所、期間及び時間、並びに公表する資料について示しております。

公表の方法につきましては閲覧方式といたします。なお、公表資料の一部は、小樽市ホームページにおいても公開いたします。公表の場所につきましては、小樽市教育委員会庁舎3階の小樽市教科書センター及び市立小樽図書館の2か所とし、公表の期間につきましては、小樽市教科書センターは明日、8月30日（金）から9月13日（金）まで、市立小樽図書館は、明日が休館日となっておりますので、明後日、8月31日（土）から9月13日（金）までとし、公開の時間につきましては、小樽市教科書センターは土曜日及び日曜日を除き午前9時から午後5時まで、市立小樽図書館は休館日の月曜日を除き午前9時30分から、平日は午後7時まで、土曜日及び日曜日は午後5時までとします。

次に、公表する資料でございますが、小学校用教科用図書につきましては①から③及び⑦（小学校用教科用図書調査研究報告書）を、中学校用教科用図書につきましては⑧から⑩を、調査委員会の規則、要領、委員名簿につきましては④から⑥、以上10点といたします。①の小学校用教科用図書の採択経過につきましては、議案第1号の最後のページにあります採択経過が、②の小学校用教科用図書は、今回採択した教科用図書の一覧と見本本が、③の小学校用教科用図書採択理由書は、議案第3号で決定しました採択理由書が、⑧の中学校用教科用図書の採択経過は、議案第2号の最後のページにあります採択経過が、⑨の中学校用教科用図書は、今回採択した教科用図書の一覧と見本本が、⑩の中学校用教科用図書採択理由書は、議案第2号で決定した採択理由書が公表資料となります。

公表資料等の複写につきましては、市立図書館設置の硬貨投入式コピー機のみ可能とし、費用は請求者の負担といたします。また、小樽市ホームページにおきまして、採択された教科用図書等の展示の案内をするほか、問合せが多い公表資料②、③、⑨及び⑩を掲載いたします。教育委員会議事録についても後日掲載いたします。

以上、御審議のほど、よろしく願いいたします。

林教育長 本件について、御質問・御意見等ございますでしょうか。
よろしいでしょうか。

各委員 （異議なし）

林教育長 それでは、本件、そのように取扱いをしていただくということで、よろしく願いいたします。本件を終了いたします。

それでは、ただ今から非公開の審議に入りますので、報道関係者及び傍聴者がおられましたら、御退席をお願いいたします。

<非公開の審議開始>

協議第1号 小樽市教育推進計画（原案）について

教育総務課長から、小樽市教育推進計画（原案）について説明し、小澤委員、笹谷委員、荒田委員、林教育長から質問が、小澤委員、笹谷委員から意見があったほか、全委員による協議が行われた。

報告第3号 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果等について

学校教育支援室主幹（教育課程・研修担当）から、平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果等について説明し、笹谷委員、林教育長、小澤委員から意見があったほか、全委員が了承した。

報告第4号 平成31年度（令和元年度）標準学力調査結果報告について

教育研究所主幹から、平成31年度（令和元年度）標準学力調査結果報告について説明し、林教育長から質問があったほか、全委員が了承した。

議案第5号 職員の措置について

教育総務課長から、職員の措置について説明し、笹谷委員から質問が、林教育長、小澤委員から意見があったほか、全委員一致により決定した。

<非公開の審議終了>

林教育長 以上をもちまして、教育委員会第8回定例会を閉会いたします。